

秘

陸同文

電報

參謀次長宛

關東軍參謀長

昭七、四、七
四、六、後、四、五、二、發

亞細亞分室

+

關參第ニ六九號

滿洲國政府ハ顧維鈞及其隨員カ國際聯盟
調査委員一行ト共ニ滿洲國ニ入國スルヲ拒絶
スヘク左記要旨ノ電報ヲ四月九日頃調査委
員一行カ北平ニ到着セル頃南京政府宛發
送スル豫定ナリ、御會ミテ之ヲ

左記

顧維鈞等ハ貴國ヲ代表シテ國際聯盟委
員ト共ニ來滿ノ由ナルカ滿洲國ハ今後貴國
ト親善關係ヲ結フ用意アリ、然ルニ貴國

方面ニ於テハ當國ヲ擾亂セントスル者アリテ
之カ爲我民衆ノ感情ヲ刺激シ居ル折柄
衛一行ニシテ又滿センカ或ハ不慮ノ事變
ヲ惹起シ今後ノ親善關係ヲ阻止スルヤモ
圖リ難ク、依テ來滿ヲ拒絶ス。

寫送先

電信課長
大臣
次官
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

(分類A1.1.0.21-12-2-1)

昭和7 八六四〇 暗 南京 七日後發 亞
本省 四月七日後着

芳澤外務大臣 上村總領事代理
第三一一號

吉田ヨリ
第二五號

六日委員長ハ滿洲國ニ於テ顧維鈞拒絕ノ「ロイテル」電報ヲ示シ委員及參與委員全部滿洲ニ赴クカ又ハ一人モ行カサルカノ外無シ右事實ナラハ大連ヨリ上陸シ奉天ノ如キ日本政府ノ保護ノ届ク場所迄赴クカ又ハ浦潮ニ上陸シ滿洲ニ接近シテ調査ヲ爲スノ外無ク極メテ重大問題ナリトテ本使ニ内談アリ其後當地ニテ田代發大臣宛第一二一

S 1.1.1.0-34

33

0028

外務省

寫送先

電信課長
大臣
次官
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

(分類A1.1.0.21-12-2-1)

昭和7 八六一九 略 南京 七日後發 情
本省 四月七日後着

芳澤外務大臣 上村總領事代理
第三〇九號

七日ノ新民報ハ外交部ヨリ出テタル消息トシテ五日謝介石ヨリ滿洲國外交部長ノ名ニ於テ國民政府外交部ニ對シ顧維鈞カ中國代表ノ資格ヲ以テ聯盟調査員ト共ニ東北ニ赴キ調査スル事絶對反對ナル旨電報越セル處外交部ハ右謝ノ申出ニ對シテハ係合ハサル事ニ決定スルト共ニ顏惠慶ヲシテ是ヲ聯盟ニ報告セシメ又顧維鈞ヲシテ調査員ト對策ヲ協議セシムル事トセル趣ナリト報セリ

支、北平、奉天、長春へ轉電セリ

S 1.1.1.0-34

32

0027

外務省

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

分類A.1.10.21-12-21

電信課長

大臣

次官

昭和7 八七三四 暗

北平 本省

四月八日後着

亞、條

芳澤外務大臣

第一五六號

本官發奉天宛電報第一九號

奉天發南京宛電報第一號(一)ニ關シ

其後綾靖公署側ニモ同様申入レ置ケル處八日同署側ヨリ右ハ聯盟一

行來着ノ上何分ノ儀決定スヘキ旨回答アリ

大臣、支、天津、南京へ轉電セリ

記録簿

外務省

S 1.1.1.0-34

35

0030

號接到シタルカ本件影響ノ大ナルヘキニ願ミ見合セ方然ルヘクト存
ス就テハ右ニ對スル應答振至急御回示相成度シ尙委員長ハ同氏ノ更
送ニモ同意セスト答ヘタリ
支北平奉天長春へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-34

34

0029

寫送先

電信課長
大臣
次官
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

(分類A.1.1.0.2/12-2-1)

昭和7 八七五八 暗 奉天 八日後發
本省 四月九日前着 亞、條

芳澤外務大臣
第五四六號 森島總領事代理

本官發聯盟宛電報
第七號

聯盟調查員「アツセツサー」顧維鈞ノ入滿ニ關シ滿洲國ニ於テハ南
京宛ニ別電第八號ノ趣旨ノ電報ヲ發スル事ニ四日閣議ニテ決意シ調
査員ノ北平到着ヲ俟ツテ發電スル事トナリタル趣ノ處右報道ハ既ニ
外部ニ洩レタルモノノ如ク七日南京、漢字新聞中外交部ハ前記滿洲
國側ノ申出ニ懸リ合ハサルト共ニ顔惠慶ヲシテ聯盟ニ報告セシムル

外務省

S 1.1.1.0-34

37

0032

寫送先

電信課長
大臣
次官
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

(分類A.1.1.0.2/12-1)

昭和7 八七五七 暗 奉天 八日後發
本省 四月九日前着 亞、條

芳澤外務大臣
第五三七號(至急、極秘) 森島總領事代理

藤參事官ヨリ

長春發大臣宛往電第一二一號及本官發大臣宛往電第五三一號ニ關シ
此際調査委員側ヨリ或ハ吉田參與員ヲ通シ我方ノ斡旋ヲ依頼越スヤ
モ計ラレサル處我方ニ於テ輕々ニ仲介ヲ引受クル時ハ當地方ノ空氣
ニモ鑑ミ種々困難ナル問題ヲ生スルノ虞アルニ付右ノ如キ依頼ハ受
付ケス直接新國家ヲシテ交渉ニ當ラシムル事得策ナリト思考セラル
右氣付キ迄

支、北平、南京、天津、長春へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-34

36

0031

寫送先

大臣 電信課長 亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

分類 1.1.1.0.2/(2-2-1)

昭和7 八七五三 略 奉天 八日後發 亞、條
 本省 四月九日前着

芳澤外務大臣 森島總領事代理
 第五四七號

本官發聯盟事務局長宛電報第八號

外交總長謝介石發羅文幹宛電報案要領

情報ニ依レハ顧維鈞氏及其隨員ハ聯盟調査委員ト共ニ近ク來滿ノ由ナルカ、滿洲國トシテハ今後敦厚ナル善隣ノ誼ヲ結フ用意アリ、貴國代表ノ如キハ特ニ禮ヲ厚ウシテ之ヲ迎ヘントスルモノナルモ目下貴國方面ニ於テハ東三省三千萬民衆ノ民意ニ依リ創始サレ崇高ナル理想ヲ實現セントスル當國ヲ偽國家反逆者ト誣ヒ且現ニ當國ノ擾亂

記録件

外務省

S 1.1.1.0-34

39

0034

事ニ決定セル旨報道シ居ルモノアル外六日「リットン」ハ吉田參與員ニ對シ委員及參與員全(部)滿洲ニ赴クニ非レハ一人モ行クヲ得ス本件報道カ事實ナリトセハ大連ヨリ上陸滿鐵附屬地ノミニ止マルカ或ハ浦潮ニ上陸滿洲ニ接近シテ調査スルノ外無ク重大問題ナリト内話セル趣ナリ

本電、別電ト共ニ大臣へ轉電シ、本電ノミ長春、北平ニ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-34

38

0033

ヲ企テツツアル者アリ、爲ニ當國民衆ノ感情ハ甚シク刺戟サレ居ル
 折柄顧氏一行ニシテ入京サレンカ或ハ不逞ノ徒ニ機會ヲ與ヘテ貴國
 トノ今後ノ親善關係ヲ阻害スルカ如キ事態ヲ惹起スルヤモ計リ難ク
 依テ今回ハ遺憾乍ラ顧氏一行ノ來滿ヲ謝絶スルノ外ナキ次第ナルニ
 付テハ右惡カラス御諒承ノ上然ル可ク御措置アリタシ

外務省

S 1.1.1.0-34

40

0035

詳細局

第一課

昭和七年四月拾八日接受
 (美濃平裁紙)

機密 文調參與第一四四號

昭和七年四月八日

聯盟支那調査委員會委員
 持命全權大使

吉田伊三郎



外務大臣 芳澤謙吉 殿

顧維鈞入滿ニ関スル委員會會議事録
 按 華送附一件

南京ヨリ電報シ置キタル滿洲國政府ニ依ル
 顧維鈞拒絶問題ニ関シ今般聯盟委員ヨリ
 別紙一通リ委員會會議事録按華
 ヲ本使ニ手交シタルニ付右字送附ス

本信字送付先 在支公使 北平 奉天

南京

外務省

S 1.1.1.0-34

41

0036

EXTRACT OF MINUTES OF A MEETING OF THE
COMMISSION ON BOARD S.S. "LOONG WO"

April 6th, 1932.

The Commission discussed a report which had appeared in the Chinese Press to the effect that Mr. Hsien Kai-Shih, claiming to be the Foreign Minister of the Government of Manchowkuo, had intimated to the Chinese Government that Dr. Wellington Koo would not be allowed by them to enter Manchuria as the Chinese Assessor attached to the Commission.

Whilst they were not prepared to pay any attention to a newspaper report, the Commission felt that if the report should turn out to be true it would at once precipitate an extremely serious crisis. They could not admit the right of any body to question the acceptability of any of their number, and an objection to Dr. Koo would be regarded by them as an objection to the Commission as a whole, which they would at once have to report to Geneva.

The Chairman was requested to ascertain, by enquiry of both the Assessors, whether any message had either been sent or received.

S 111.0-34

42

0037

REEL No. A-0180

0180

アジア歴史資料センター

寫送先

會文人情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

大臣
次官

電信課長

分類 11.1.0.21-12-21

昭和7 八八三〇 略 長春 九日後發
本省 四月九日後着 亞

芳澤外務大臣 田代領事
第一三八號

（邦譯文）情報ニ依レハ貴國人顧維鈞氏及其隨員ハ貴國ヲ代表
シテ近ク滿洲國ニ來ル可キ國際聯盟調査委員ト共ニ來滿ノ由ナルカ
滿洲國トシテハ今後貴國ト極メテ敦厚ナル善隣ノ誼ヲ結フ用意アリ
貴國代表ノ如キハ勿論特ニ禮ヲ厚クシテ之ヲ迎ヘントスルモノナル
モ目下貴國方面ニ於テハ東三省三千萬民衆ノ民意ニ依リ創始サレ崇
高ナル理想ヲ實現セントス當國ヲ偽國家、當路者ヲ反逆者ト誣ヒ且
現ニ當國ノ攪亂ヲ企テツアル者モアリ爲ニ當國民衆ノ感情ヲ著シ

外務省

S 1.1.1.0-34

44

0039

寫送先

會文人情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

大臣
次官

電信課長

分類 11.1.0.21-12-21

昭和7 八八二一 暗 長春 九日後發
本省 四月十日前着 亞

芳澤外務大臣 田代領事
第一三七號（至急）

本九日南京政府外交總長宛別電第一三八號ノ如キ内容ノ電報ヲ發送
セリ

支、北平、天津、南京、漢口、奉天、聯盟局長へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-34

43

0038

大臣 陸軍 陸軍大臣 陸軍省

電送第 7634 号

昭和 7 年 4 月 9 日 時 8 分

主 任 陸軍大臣 (起 昭和 7 年 4 月 9 日)

件 願 維 鈞 入 滿 二 關 ス ル 件

在 長 春 田 代 領 事

發 芳 澤 大 臣

第 三 二 號 極 密

吉 田 大 使 來 電 第 二 五 號 ニ 關 シ

願 維 鈞 ハ 支 那 側 代 表 者 ナ ル モ 日 本 側 代 表 者 タ ル 吉 田 大 使 ト 均 シ ク 參

與 委 員 ト シ テ 任 命 セ ラ レ タ ル 上 ハ 客 年 十 二 月 十 日 ノ 決 議 ニ 依 ル 調 査

委 員 會 ノ 一 員 タ ル ヲ 以 テ 同 人 ノ 入 滿 拒 否 ハ 獨 リ 對 支 關 係 ニ 止 ラ ス 聯

電 信 課 長

電 信 案

外 務 省

S 1.1.1.0-34 46 (記) 0041 1859

ク刺戟サレ居ル折柄願氏一行ニ於テ入境サレンカ或ハ不軌ノ徒ニ機
會ヲ與ヘテ貴國トノ今後ノ親善關係ヲ阻害スルカ如キ事態ヲ惹起ス
ルヤモ計リ難ク依テ今回ハ遺憾ナカラ願氏一行ノ來滿ヲ謝絶スルノ
外ナキ次第ナルニ付テハ右惡シカラス御了承ノ上然ル可ク御措置ア
リ度シ

前電ノ通り轉電セリ

外 務 省

S 1.1.1.0-34 45 0040

盟ニ對シ面白カラサル影響ヲ來ス虞アル處新國家ハ國際條約等ノ尊
 重ハ勿論其他對外的ニ穩健ナル方針ヲ執ルコトヲ主旨トシ居ル次第
 ニテ旁々新國家トシテ本件ヲ荒立ツルコトハ面白カラスト思考セラ
 ル就テハ貴電第一二三號通告ニシテ未タ發送セラレ居ラサルニ於テ
 ハ右發送方取止メ又若シ發送濟ナラハ新國家トシテハ顧維鈞ノ人格
 經歷及張學良トノ特殊關係等ニ顧ミ同人カ滿洲ニテ政治的策動ヲ試
 ムルコトヲ特ニ懸念スル末第三ニシテ新國家當局ハ前記考慮ニ基キ同

(原議用紙乙)

0042

S 1.1.1.0-34 47

電信案

外務省

人入滿後ノ行動ヲ監視シツツ其ノ入滿ヲ靜觀スヘキ旨表明スル等ノ
 方法ニ依リ事實上調査委員一行ノ入滿ニ支障ナカラシムル權取計
 大橋司長トキ打命セノ上可然新國家側ニ斡旋セラレ度
 尙新國家側ニ於テ顧ノ入滿ニ反對スル真相御取調ノ上至急回電アリ
 度
 奉天其他必要ノ在滿公館ニ轉電セシラレ度
 支、北平、天津、南京、蕪湖、米キ轉電シ壽府ヲシテ英、佛、獨、

(原議用紙乙)

0043

S 1.1.1.0-34 48

電信案

外務省

電送第 7511 號
昭和 7 年 4 月 9 日 午前 7 時 15 分

事件投交
長官
局長
主任

電 信 案	奉天發本大臣宛電報第五三七號伊藤參事官具申ノ次第モアリ本件ニ 付テハ差當リ「リットン」トノ應酬ヲ避ケラレ度キ米田代領事等盡 目録	長春宛往電第 三三 號ニ關シ	吉田大使へ左ノ如ク御傳ヘアリ度	暗 第 六四 號	宛 在北平 矢野參事官	件 顧維鈞入滿ニ關スル件	主 管 亞細亞局長 主任 任 起 草 昭和七年四月九日	名込綴	發 芳澤大臣	外 務 省
-------------	--	----------------	-----------------	-------------	----------------	-----------------	--	-----	-----------	-------------

S 1.1.1.0-34

50

0045



(原議用紙甲)

電 信 案	伊ニ轉電セシム	外 務 省
-------------	---------	-------------

(原議用紙乙)

S 1.1.1.0-34

49

0044



條約局長
電報課長

電 信 案	外 務 省	支、南京、天津、奉天、長春ニ轉電セリ	手セル情報トシテ「リットン」ニ内報セラレ度	トナリタル場合ハ各場合ニ應シ新國家側ノ態度ニ關シ田代領事ノ入	カノ結果幸ニシテ支那側カ冒頭電報所載ノ措置イ何レカラヲ執ルコト
電 信 案	外 務 省	支、南京、天津、奉天、長春ニ轉電セリ	手セル情報トシテ「リットン」ニ内報セラレ度	トナリタル場合ハ各場合ニ應シ新國家側ノ態度ニ關シ田代領事ノ入	カノ結果幸ニシテ支那側カ冒頭電報所載ノ措置イ何レカラヲ執ルコト

S 1.1.1.0-34

52

0047

電信課長

電信案

電信案

外務省

S 1.1.1.0-34

51

0046

主任 亞細亞局長

主任 亞細亞局長 (建章) 丙子年四月九日

(原議用紙甲) 同格

件 船隻の場ニ関スル件

名込綴

宛 在北平 矢野参事官

發 芳澤大臣

吉田大使へ奉り御傳へたり度

貴電第二五號ニ關シ

長春宛往電第 〇號ノ趣旨御含ミノ上新國家側ニ於テハ顧ノ人格

經歷及張學良トノ特殊關係ニ鑑ミ同人カ滿洲ニテ政治的策動ヲ試ム

電 信 案	外 務 省				壽府、米ニ轉電シ壽府ヲシテ英、佛、獨、伊ニ轉電セシム		支、長春、奉天、南京ト轉電セリ		リ應酬シ置カレ度	關スル新國家ノ態度緩和方ヲ斡旋スル様出先官憲へ電訓セル旨差當	ルコトヲ懸念シ居ルニ非スヤト思考セラルル處我方ニ於テハ本件ニ				(原議用紙乙)
-------------	-------------	--	--	--	----------------------------	--	-----------------	--	----------	--------------------------------	--------------------------------	--	--	--	---------

§ 1.1.1.0-34

53

0048

REEL No. A-0180



78

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人文

文書

會計

寫送先

(分類 11.1.0.21-122)

昭和7 八八九三 平 北平 本省

十日後發 四月十日後着

亞、條

芳澤外務大臣

矢野參事官

第一五九號

九日顧維鈞ノ漢字紙記者ニ對スル談話大要左ノ通

調査團員ハ今次北上ノ際列車快適ナリシヲ以テ口ヲ極メテ中國交通
事業ノ發展ヲ稱讚セリ天津ニテハ南方ニ比シ比較的詳細的確ノ材料
ヲ得「リ」氏大イニ満足セリ北平滞在ハ七日乃至十日ナルヘシ同團
ノ東北調査ノ際ハ北寧線ニ依リ出關スヘク北戴河ニ於テ報告書ヲ作
成スヘキヤハ尙未定ナルカ五月一日迄ニ先ツ簡單ナル報告ヲ提示ス
ヘシ自分ノ出關拒絕問題ニ付裝ニ羅外交總長ニ尋ネタルモ滿洲國ヨ

四月十日午後發
亞、條
矢野參事官
芳澤外務大臣
第一五九號
九日顧維鈞ノ漢字紙記者ニ對スル談話大要左ノ通
調査團員ハ今次北上ノ際列車快適ナリシヲ以テ口ヲ極メテ中國交通
事業ノ發展ヲ稱讚セリ天津ニテハ南方ニ比シ比較的詳細的確ノ材料
ヲ得「リ」氏大イニ満足セリ北平滞在ハ七日乃至十日ナルヘシ同團
ノ東北調査ノ際ハ北寧線ニ依リ出關スヘク北戴河ニ於テ報告書ヲ作
成スヘキヤハ尙未定ナルカ五月一日迄ニ先ツ簡單ナル報告ヲ提示ス
ヘシ自分ノ出關拒絕問題ニ付裝ニ羅外交總長ニ尋ネタルモ滿洲國ヨ

リハ何等通知ニ接シ居ラサル由ナリシカ假令通知アリタリトスルモ
我方ハ不問ニ附スヘシ
公使、奉天、長春へ轉電セリ

外務省

外務省

S 1.1.1.0-34

55

0050

S 1.1.1.0-34

54

記 0049

REEL No. A-0180

アジア歴史資料センター

電信課長

大臣

次官

亞細亞

會文.人.文.情.條.通.歐.米
計書.事.化.報.約.商.米

寫送先

昭和7 八九一三 暗

上海 四月十一日前發
本省 四月十一日後着

芳澤外務大臣

重光公使

第六六六號

奉天發本使宛電報

第二九九號(至急)

本庄司令官ヨリ松岡代議士へ左ノ通

貴信並貴電拜誦願維鈞ノ入滿拒絕ノ件ハ既ニ滿洲國政府ノ閣議ニテ
決定シ居ル次第ニテ南京側カ滿洲國政府ヲ以テ叛逆政府ナリトシ事
毎ニ滿洲國ニ不利ナル態度ヲ持スル以上滿洲國ノ右決定モ充分ノ理
由アリト認メ得ヘク且ツ滿洲國ニテハ本件ヲ以テ支那本部ニ對スル

滿洲日支軍事衝突事案ニ係ル件
ニ依テ設置シ居ル聯盟天那調查員ノ係
滿洲國支那側參考被檢鈞久國拒否問題

外交ノ第一歩トシテ頗ル重要視シ居ル關係上此ノ際本官等ヨリ彼是
指圖カマシキ措置ヲ差控ヘ居ル次第ニテ貴電ノ御趣旨至極同感ナリ
尙我方トシテハ我行政權内ニ關スル限り調査委員ノ使命遂行ニ充分
ノ便宜ヲ與フヘキハ勿論ナリ

外務省

S 1.1.1.0-34

57

0052

外務省

S 1.1.1.0-34

56

0051

子

電信課長

大臣

次官

亞細亞
歐米

通商

條約

情報

人文

人文

會計

寫送先

分類 A.1.1.0.21-12-2-X

昭和7 八九六七 暗

北平
本省

四月十一日 後發
着

亞

芳澤外務大臣

矢野參事官

第一六二號

顧維均ノ入滿問題ニ關スル先般來各方面ヨリノ質問ニ接シ居ルカ
調査團着平ト共ニ愈々差迫レル實際問題ト成レルニ至レリ本件ニ關
スル外部ヘノ應答振ハ日滿兩國ニ於テ趣旨ヲ一貫セシメ置クコト望
マシト思考スル處「ルーター」等當地外國通信員ノ質問振ニ徴スル
ニ其要點ハ(一)顧ヲ「ベルソナノングラタ」ズルニ在ルカ(二)本問題ニ
滿洲國ノ承認問題ヲ引掛ケントスルモノナリヤ(三)目下ノ世評ニ拘ハ
ラス顧カ強イテ委員一行ト共ニ鐵道ニ依リ入滿セントスル場合例ハ

外務省

S 1.1.1.0-34

58

0053

山海關等ニ於テ其入滿ヲ實力阻止セントスルモノナリヤ等ニ在ルカ
如シ是等諸點ニ對シ我方ノ應答振ニ付何分ノ儀御回示アリ度シ
公使、奉天、長春へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-34

59

0054

寫送先

大臣
次官
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

電信課長

昭和7 八九六九 略

南京

本省 四月十二日 後發

亞、精久

芳澤外務大臣

上村總領事代理

第三二二號

往電第三二〇號ニ關シ

十一日ノ各新聞ハ外交部ヨリ出テタル確實ナル消息トシテ昨夕電報局ヨリ謝介石發電報一通ヲ外交部ニ配達シ來レルカ其ノ内容ハ本月四日東京ヨリ傳ヘラレタル報道ト大体同様ニシテ外交部ハ之カ收受ヲ拒絕シ該電報局ヲシテ突返サシムルト共ニ之ヲ聯盟及調査員ニ報告シテ十二月十日ノ決議案ヲ嚴格ニ執行センコトヲ要求シ他方日本政府ニ對シテハ大要左ノ如キ抗議ヲ提出セル旨報道シ居レリ

外務省

S 1.1.1.0-34

60

0055

日本軍カ完全ニ東三省ヨリ撤退シ九月十八日以前ノ状態ニ回復スル迄ハ日本ハ東三省ニ於ケル一切ノ逆進行爲ニ對シ全責任ヲ負フヘキモノトス今回ノ謝介石ノ電報モ發出ノ五日前既ニ其ノ内容ハ東京ヨリ各國ニ傳ヘラレタルカ右ハ日本政府カ指圖セルコト疑ナシ將來聯盟調査員又ハ支那代表カ若シ東北ニ於テ其ノ職權ヲ完全ニ行使シ能ハサルカ或ハ意外ノ事件發生スルコトアルモ其ノ責任ハ全部日本政府ニ於テ負フヘキモノトス支那代表顧維鈞ハ聯盟ノ決議ニ從ヒ調査員ト共ニ東北各地ニ赴キ視察スヘシ

支、北平、奉天、長春へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-34

61

0056

(4)

電信課長

大臣

次官

亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

寫送先

昭和7 八九五九 略

天津 本省

四月十一日後着

亞、條

芳澤外務大臣

桑島總領事

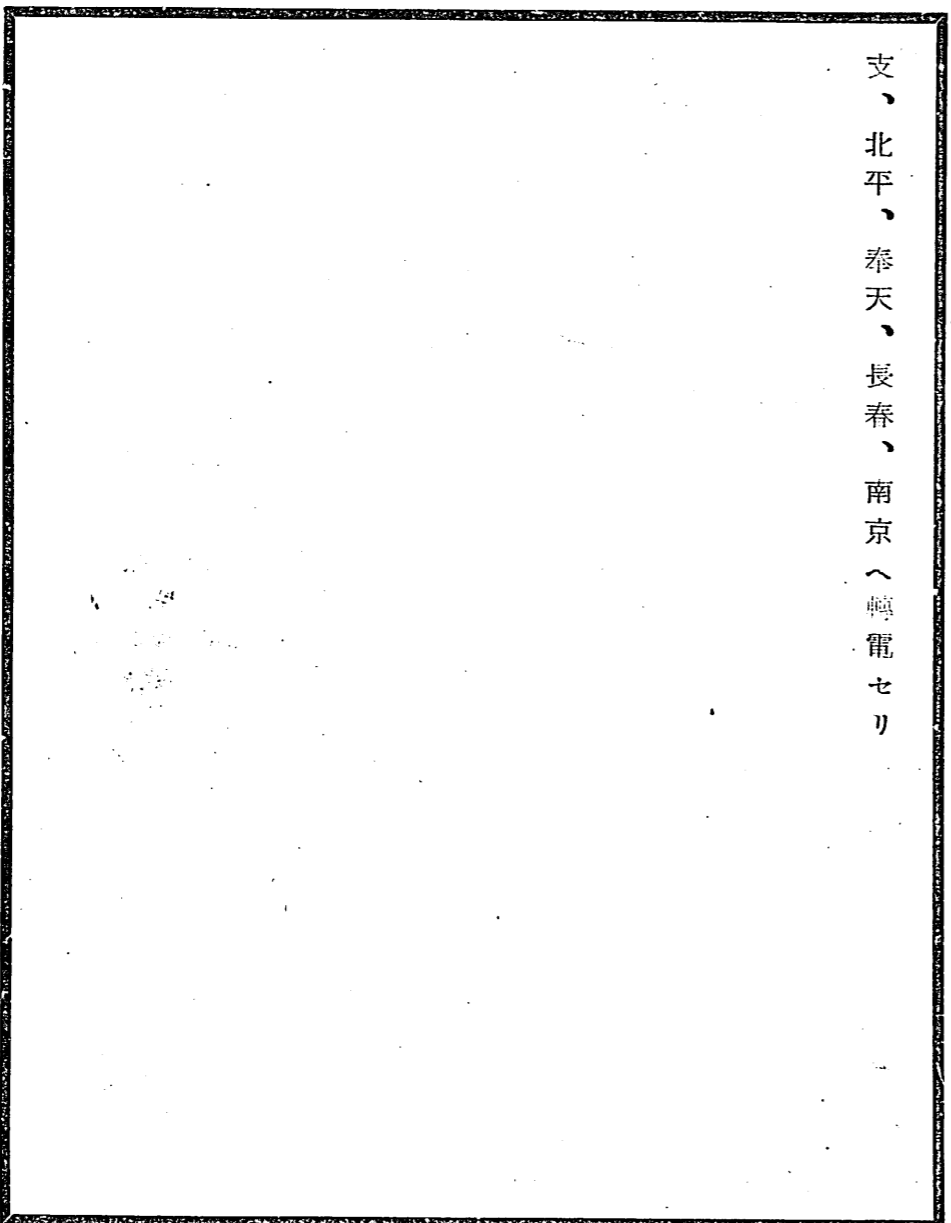
第一六三號

長春發大臣宛電報第一三七號ニ關シ
十一日ノ當地新聞記事左ノ通り

本電報發出五日東京ヨリ其内容遍ク各國へ傳ヘラレタル點ヨリ考
フルニ右ハ日本政府ノ指示ニ依ル事疑ノ餘地ナシ若シ東北ニ於テ聯
盟調査團或ハ支那代表カ完全ニ其ノ職權ヲ行使シ得ヌ又ハ意外ノ事
故發生セハ責任ハ全然日本政府ニ於テ是ヲ負フヘキモノナリ支那政
府ハ十二月十日ノ決議ニ照シ日本ニ抗議ヲ提起スルト共ニ聯盟ノ決
議ヲ遵奉シ願ヲシテ調査團ニ隨伴東北ヲ視察セシムヘシ云々

滿洲及軍機等事支那保存
善後措置一併併録
滿洲及軍機等事支那保存
善後措置一併併録

支、北平、奉天、長春、南京へ轉電セリ



外務省

S 1.1.1.0-34

63

0058

外務省

S 1.1.1.0-34

62

0057

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

昭和7 八九五二 暗

長春 本省

四月十一日後着

亞、條

芳澤外務大臣

田代領事

第一四一號ノ一（至急、極秘）

貴電第三二號ニ關シ

大橋往訪御來示ノ次第ヲ傳ヘ種々懇談シタルニ同人ノ語ル所ニ依レ

ハ

一、學良系タル顧維鈞來滿ノ上ハ滿洲奪回ノ運動ニ付種々策動スヘキ

コト豫見ニ難カラス在滿人心未タ安定ノ域ニ達セサル實情ナル折

柄爲ニ新政府反對ノ氣運ヲ醸成スルニ至ルヤモ計ラレサル上顧カ

聯盟委員ノ公正ナル調査ニ對シ種々邪魔ヲ入レ新國家側ニ不利ナ

外務省

S 1.1.1.0-34

64

0059

0060

65

S 1.1.1.0-34

ル結果ヲ招來スルノ惧アル爲顧ノ入滿拒絕ノ空氣ハ各方面ニ亘リ濃厚ニシテ顧ニシテ強イテ入滿センカ事實如何ナル不祥事ノ發生ヲ見ルヤモ計ラレサル狀況ナリシヲ以テ豫メ顧ノ入滿ヲ阻止シ且累ヲ聯盟委員ニ及ホササル様措置スルコト却テ問題ノ惡化ヲ防ク所以ナリト思考シ大橋ニ於テ南京宛通告發送ノ「イニシア」テイ「ブ」ヲ執リタル次第ナリ

ニ而シテ既ニ南京宛右通告ヲ發セルノミナラス（右ニ對シテハ受取人ニ於テ受領ヲ拒絕セル旨南京電報局ヨリ通知アリタリト）新聞ヲ通シテ周知ノ事實トナリタル今日獨立國家ノ体面ヨリスルモ今更何トモ致方無ク（續ク）

外務省

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

昭和7 八九七一 暗

長春 本省

四月十二日 發着

亞、條

芳澤外務大臣

田代領事

第一四一號ノ二(至急、極秘)

且只サへ外部ニ於テハ新政府ヲ目シテ日本ノ傀儡政府ナリト稱シ居ル際日本ノ斡旋ニ依リ新政府ノ方針緩和セラレタルカ如キ印象ヲ與フルコト面白カラス旁御來示ノ次第ハアルモ遺憾乍ラ願ノ入滿拒絶ノ方針ハ變更ヲ許ササル次第ナリ
ニ尤モ願ニ於テ委員一行ト共ニ大連ニ上陸スル場合願カ日本ノ行政權下ニ在ル滿鐵沿線ニ旅行スルコトニ付テハ新國家トシテ兎ヤ角云フヘキ筋合ニ非サルモ(實際ハ滿鐵沿線ニ於テモ相當ノ危險アルヘ

外務省

S 1.1.1.0-34

66

0061

ク日本側ニ於テ慎重ナル警戒ヲ要ス) 一步沿線ヲ離レテ與地ニ入込ム場合ハ斷乎トシテ阻止スル所存ナリ但聯盟委員自体ニ對シ調査上出來得ル限りノ便宜ヲ供與スヘキコト勿論ナリ

四 大橋トノ會談級上ノ通ニシテ將又當方面一般ノ空氣ヨリスルモ新國家トシテ當初ノ方針ニテ進ムノ外無シト存セラル尙軍司令官ヲ始メ滿洲滯在中ノ田中大使、伊藤參事官ニ於テモ右方針ニ關シ同様ノ意見ヲ抱キ居レリ

北平ヲシテ吉田大使ニ轉達シ、聯盟ヨリ英、佛、獨、伊へ轉電アリ
支、北平、天津、南京、聯盟、米、在滿各領事(間島ヲ除ク)へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-34

67

0062

陸軍省

第一課

昭和七年四月拾八日接受

あつた
しるし

機密公第一七九號

昭和七年四月十一日

別紙添附

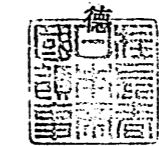
在長春

領事

田代

重

徳



外務大臣 芳澤 謙吉 毅

國際聯盟調査委員來滿ニ願維鈞
一行ノ同行 謝絶電原文報告ノ件

本件謝絶電内容ニ關シテハ既電報告ノ通りナルカ其原文御參考
迄ニ茲ニ添付報告ス

本信寫送付先 在華公使 北平 天津 南京 漢口 奉天

在長春日本領事館

S 1.1.1.0-34

68

0063

REEL No. A-0180

0177

アジア歴史資料センター

致中華民國外交部電

南京中華民國外交部長羅文幹閣下台鑒近據報告貴國將派顧維鈞氏偕同隨員隨國際聯盟調查委員來滿等情查我滿洲國係依三千萬民衆之公意驅除軍閥建立崇高理想之新邦對於貴國極欲互修和好如有代表或當道要人遠來自當以禮歡迎惟邇來貴國任意宣傳斥我國爲僞國家誣我當局諸人爲叛逆以致我國民衆對貴國感情異常刺激倘顧氏一行入境保無與不逞之徒以種々機會爲將來雙方親善之阻礙應請貴部長妥爲設法勿使顧氏一行東來免滋意外特此辭謝請煩查照諸希諒察滿洲國外交總長謝介石佳

在長春日本領事館

S 1.1.1.0-34

69

0064